

(再評価)

資料2-2(1)

河川事業

確認結果

### 再評価原案準備書説明資料

しよこつ  
渚滑川直轄河川改修事業

令和3年度  
北海道開発局

#### ◇渚滑川直轄河川改修事業の総便益

- ⑤便益（洪水被害） 842億円 一治水経済調査マニュアル（案）より算出、現在価値化
- ⑥便益（残存価値） 1.8億円 一治水経済調査マニュアル（案）より算出、現在価値化

⑦総便益【B】 → 844億円（現在価値化） --⑦=⑤+⑥

確認後：843億円

#### 事業全体

◆費用便益費（B/C） → 844億円 / 71億円 = 11.9

◆純現在価値（B-C） → 844億円 - 71億円 = 773億円

◆経済的内部収益率（EIRR） 60.8%

※算出条件 整備期間：平成22年度～令和10年度（19年間） 評価対象期間：平成22年度～令和60年度（整備期間+50年間）

確認後：772億円

#### 残事業

◆費用便益費（B/C） 323億円 / 17億円 = 19.1

※算出条件 整備期間：令和4年度～令和10年度（7年間） 評価対象期間：令和4年度～令和60年度（整備期間+50年間）

確認後：18.7～19.4

#### 当面整備

◆費用便益費（B/C） 242億円 / 12億円 = 20.1

※算出条件 整備期間：令和4年度～令和7年度（4年間） 評価対象期間：令和4年度～令和57年度（整備期間+50年間）

確認後：17.2～20.9

#### 感度分析

	感度分析	残事業のB/C	事業全体のB/C
◆事業費	(+10%～-10%)	(17.4～21.1)	(11.6～12.1)
◆工期	(-10%～+10%)	→ 18.8～19.4	(11.8～11.9)
◆資産	(-10%～+10%)	→ 17.2～21.0	(10.7～13.0)

※B/C算定に用いている総費用及び総便益については、消費税相当額を控除しています。